

|       |   |
|-------|---|
| 項目    | Cheiron-GIFTS 2022 公募要項   |
| 趣旨    | <p>日本の研究者が研究の場を海外に置き、国際的に活躍することが難しくなりつつあります。例えば、留学したくても、育児など家族に関する費用は別途捻出する必要があるため、家族・パートナーを帯同することを諦めざるを得ない、また、そもそも留学自体を断念してしまう場合もあります。</p> <p>このように、現在約200万人<sup>1</sup>いると推定される日本人研究者の家族の中には、配偶者のキャリアパスや子供の教育、親の介護等の問題で海外留学や研究継続を断念するというような不幸な「家族ブロック」の事例が少なくありません。</p> <p>こうした研究者の家族・パートナーに関する不安を払拭し、研究者が安心して研究に打ち込んだり、留学の道を選択したりすることができる環境整備を支援することを目的として、研究者の家族・パートナーに向けた助成金制度「Cheiron-GIFTS<sup>2</sup>（研究者家族留学支援イニシアチブ）」が創設されました。</p> <p>Cheiron-GIFTSは2020年に初めての公募を実施し、今回で3回目となります。<br/>Cheiron-GIFTS 2022のテーマとして、次の①～③のいずれかをご選択ください。</p> <p>① 「研究者の家族の海外でのキャリアパスの問題」<br/>② 「研究者の留学先での多様な家族・パートナーの在り方」<br/>③ 「研究者の家族・パートナーを取り巻く海外環境を発信する」</p> <p>テーマ①については、Cheiron-GIFTSの根源的なテーマとして、継続的に募集を行っているものです。加えて、今回、テーマ②、③として、「研究者の留学先での多様な家族・パートナーの在り方」を問うような課題、「研究者の家族・パートナーを取り巻く海外環境を発信する」ことを支援する取り組みを設定することとしました。</p> <p>さまざまな領域でのダイバーシティの必要性が求められる中で、「家族」のあり方もここ最近で実に多様化しています。例えば、LGBTQ+カップル、事実婚、シングルマザー・ファザーなど、従来の概念には当てはまらない新しい家族の形態が生まれています。その一方で、日本の社会基盤は、従前の形態をベースとして構築されており、海外に比べ大きく遅れをとっていると言えます。そこで、Cheiron-GIFTS 2022では、海外における研究者の多様な家族・パートナーについて、留学後に日本国内でも展開しうるあり方を探すことを目的に課題を設定しました。</p> <p>さらに、海外に留学した家族・パートナーの体験談は広く共有されることが少なく、研究者が非正規雇用であることから直面する課題などを克服するための情報が限られています。そうした課題克服や帯同したからこそ得られたポジティブな視点や経験などを記事やその他の手法で伝えるコミュニケーターとしてのキャリア構築を当法人ウェブサイトやソーシャルメディアを通して支援します。</p> <p><sup>1</sup>日本の研究者数84万7100人（2016年総務省統計局）および1世帯当たり人員2.38人（2015年国勢調査）より概算<br/><sup>2</sup>Cheiron Grant Initiative for Families enabling Tomorrow's Science</p> |
| 2助成金額 | 【3～10家族程度】1家族あたり、10万円～40万円程度  |

|               |  |
|---------------|--|
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・選考後、調整の上、助成金額等について最終決定します。</li> <li>・税金の扱いについては最寄りの税務署にご確認ください。</li> <li>・家族・パートナー全体としての助成となるため、代表者は応募時に任意に決定できません。</li> </ul>   |
| <b>応募資格</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国外の大学、研究機関及びこれに準じる施設に所属、又は所属しようとしている研究者に帯同する「家族・パートナー」（研究者自身を含む。）であること<sup>3</sup>。</li> <li>・上記研究者（学生や大学院生を含む。）が、基礎科学（生命科学、生物科学、数理科学、地球/宇宙科学等）の分野や先端技術（エレクトロニクス、バイオ/メディカルテクノロジー、材料科学、情報科学等）の分野、思想・芸術（音楽、美術、映画・演劇、思想・倫理等）の分野で、世界で活躍し日本を主導することを目指していること。</li> <li>・助成金受給後に、翌年の報告会<sup>4</sup>でCheiron-GIFTSを用いた成果を報告するとともに、当法人のウェブサイトやニュースレター等の中で、体験談として、写真などの提供を含め、「研究者と家族が直面しうる様々な問題の解決策」を紹介していただけること（記事の執筆やインタビューを含む。）。</li> <li>・年齢・性別は不問。</li> </ul> <p><sup>3</sup>当法人が支援を考える「家族・パートナー」の一例として、当法人ウェブサイト (<a href="https://www.cheiron.jp/grant">https://www.cheiron.jp/grant</a>) に挙げられたケース1～3があります。</p> <p><sup>4</sup>下記「贈呈式・報告会」の項を参照。</p> |
| <b>応募期間</b>   | 2022年4月1日～2022年4月30日（期日厳守）   |
| <b>応募方法</b>   | 当法人のホームページから応募フォームにアクセスの上、登録、提出してください。<br><a href="https://www.cheiron.jp/grant">https://www.cheiron.jp/grant</a>  |
| <b>選考方法</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人の選考委員会において、応募フォームの書面審査等により行います。</li> <li>・次の内容を選考の際に勘案します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 翌年の報告会<sup>4</sup>でCheiron-GIFTSによる一定の成果を報告できる提案であること</li> <li>2. Cheiron-GIFTSで着手できる現実的なタイムラインとなっていること</li> <li>3. 留学中の家族・パートナーの在り方についての、申請者としての理想を提示していること</li> </ol> </li> <li>・また、世界で活躍する研究者とその家族・パートナーを支援するという当法人の趣旨に則り、研究者自身が個人又はグループで、公的機関及び他の財団から研究留学等に関する助成を受けている又は受けることが決まっている場合、優先的に選考いたします。</li> <li>・なお、応募フォームに記載の内容は個人情報保護法を順守し、予め同意をいただいている活用方法を除き、本選考以外には使用しません。</li> </ul> <p><sup>4</sup>下記「贈呈式・報告会」の項を参照。</p>   |
| <b>選考結果通知</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年6月中旬頃までに採択者に結果をご連絡する予定です。</li> <li>・また、選考結果は当法人のホームページで紹介します。</li> <li>・採否の理由についてのお問い合わせには応じかねますのでご了承ください。</li> <li>・虚偽の申請が判明した場合や定められた報告等がなされない場合、採択の取り消し、助成額の全額返還を求める場合があります。</li> </ul>  |

|                |   |
|----------------|---|
| <b>助成金交付</b>   | 2022年6月末日頃に交付します。   |
| <b>贈呈式・報告会</b> | Cheiron-GIFTS贈呈式（2022年開催日未定）及び報告会（2023年に開催予定）にオンライン等での出席をお願いする場合があります。  |
| <b>報告の義務</b>   | <p>・交付金受給者は、応募資格に記載のとおり、翌年の報告会<sup>4</sup>でCheiron-GIFTSを用いた成果を報告することのほか、当法人のウェブサイトやニュースレター等の中で、体験談の執筆やインタビューに応じていただきます。</p> <p><sup>4</sup>上記「贈呈式・報告会」の項を参照。</p> |